話し合おう 私たちの 新しい 図書館のこと

■問い合わせ先
生涯学習振興課地域教育班　☎53−1082
図書館（本館）☎53−0301

そうだ、図書館に行こう！ 第2回

新しい図書館に向けての懇談会を開催します

図書館は、私たちの最も身近な『知の拠点』です。大切な１冊との出合いの場であり、心を豊かにする特別な時間を与えてくれる場所です。

教育委員会では、図書館機能のさらなる充実のため、新しい図書館の建設に向けて取り組んでいます。

私たちの新しい図書館のことを、みんなで話し合ってみませんか？　今まさに生まれ変わろうとしている図書館について、皆さんの希望や思い、さまざまなアイデアをお聞かせください。

いただいた皆さんの声を基本計画に盛り込みながら、多くの方に愛され、親しまれる図書館を目指したいと考えています。ぜひご参加ください。

■日時　１月１５日（日）１４時～１６時
■場所　中央公民館　１階ホール

前回はこんな意見が出ました

７月１７日の第１回懇談会には、大人から子どもまで３９人の参加があり、次のような意見が出されました（一部抜粋）。

- 本や郷土資料の充実
- 子ども連れでも利用しやすい図書館
- 駐車場を広くしてほしい
- 利用者同士の交流など人をつなぐ図書館
- おしゃべりしたり飲み物を飲んだり、くつろげる場所がほしい
- 情報発信し、香美市をＰＲできる図書館

第２回懇談会では、これまで寄せられたご意見をもとに、教育委員会が目指す新図書館の方向性をお伝えします。その上で、皆さんからさらにご意見をお伺いしたいと考えています。

新しい図書館をより良いものにするために、皆さんの思いやご意見を伝える機会です。多くのご参加をお待ちしています。

▲第１回懇談会の様子

図書館だより

市立図書館

新年あけましておめでとうございます。

香美市立図書館では、図書館に親しみを持っていただくため、さまざまな取り組みを行っています。

昨年は、香美市合併10周年記念事業として**図書館まつりスペシャル**を**３館合同**開催し、多くの来場者で盛り上がりました。

また、マスコットキャラクター・**か～みぃちゃん**が誕生し、図書館の利用を促進する取り組みの中で活躍しています。

施設面においては、物部分館の市役所物部支所新庁舎内への移転があり、また、本館については新図書館建設へ向けての話し合いが始まりました。

今後も、書籍や資料の充実はもとより、さまざまなイベントや利用者サービスに取り組み、親しみやすく、愛される図書館を目指していきます。今年もよろしくお願いします。

◆子ども司書養成講座

図書館では、平成23年度から子ども司書養成講座を開始し、平成27年度までに93人の子ども司書が誕生しました。平成28年度は23人が受講し、読書活動に必要な知識を学びました。

受講修了者の中には、その後も自主的に活動を行う子どもたちもおり、図書館での貸出返却業務やおはなし会の開催などを行っています。図書館本館では、毎月第３日曜日の15時から子ども司書によるおはなし会を開催しています。ぜひご参加ください。

◆図書館で配布中！『図書館だより』読んでみて

図書館イベントのお知らせや新刊図書リストなどを掲載した**図書館だより**を、本館・香北分館・物部分館がそれぞれ発行しています。各図書館で配布していますので、ぜひご利用ください。

【問い合わせ・連絡先】
本館　☎53・0301

Pick Up

100歳の精神科医が見つけた
こころの匙加減
髙橋幸枝 著
頑張り過ぎず、自分を甘やかしすぎず。我慢しすぎず、他人を頼りにしすぎず。人生とは自分の「匙加減」を見極めていく営み。さあ、あなたの心を上向きに！

60代、70代の
アイテム別着こなしレシピ
佐藤恵子 著
「等身大のおしゃれが素敵」がコンセプト。質の良いものを最小限。Ｔシャツからスーツ、小物使いまで。さり気なくセンスアップするヒントが満載です。

失踪者
下村敦史 著
１０年前、極寒の氷雪峰に置き去りにされた親友。しかし対面した遺体は年を取っていた。登場人物とともに八千メートル峰を登る。あなたはそこに何を見るか。

吉井勇記念館だより

ミニ企画展　季節の展示　～冬～

吉井勇記念館では、『季節の展示～冬～』を開催します。冬の情感あふれる作品を中心に展示しています。

ぜひご来館ください。

【期間】１月７日（土）～３月27日（月）
※火曜日休館

吉井勇作品紹介

友もわれもはだらはだらに髪白み
　老いぬれどなほ心きほへり
眉あげて友は語れど胸ぬちの
　その寂しさはわれもまた知る
歌の道は遠くはるけし友もわれも
　語らねど知る往くに難きを

〔解説〕
昭和16年の年始に、勇のもとへ**川田順**が訪ねてきたときのことを詠んだ歌です。

勇はこの時のことを「階上に招じ火桶を圍（かこ）みて語る、髪白めども談論風發、青年の慨あり」と記し、年齢を重ねても意気盛んに議論する２人の姿がうかがえます。

◆川田順
歌人。佐佐木信綱に師事。『新古今和歌集』の研究家としても活躍した。勇とは、１９４７年に谷崎潤一郎、新村出らとともに４人で天皇に謁見（えっけん）するなど、晩年まで交流があった。

■問い合わせ先　吉井勇記念館　☎58・2220